

## 事業実績書

事業名	多様な移住者の能力が発揮される交流の場「うみねこオープンカフェの開催」																																		
場所	静岡県沼津市大手町4丁目5-3 NewStand+																																		
期間	令和7年6月14日 ～ 令和8年3月28日																																		
	日程	実施項目・作業項目																																	
事業内容	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>【準備期間（令和7年5月～6月）】</p> <p>事業開始に先立ち、会場であるNewStand+の運営事業者と複数回にわたる打ち合わせを実施し、貸切営業の日程・運営体制・会場レイアウト等について合意した。あわせて、コミュニティのDiscordおよびSNS・市と連携した広報、地元商店への情報提供を行い、初回開催に向けた周知を進めた。ミニセミナーの講師については、コミュニティ参加者への声掛けにより募集・決定した。</p> <p>【実施期間（令和7年6月～令和8年3月）】</p> <p>令和7年6月から令和8年3月にかけて、月1回・全10回の「うみねこオープンカフェ」を開催した。実施場所はNewStand+。参加対象は移住者・地域住民・観光客・移住希望者を含む不特定多数とし、入場無料・予約不要で誰でも自由に立ち寄れる形式とした。時間はすべて12時～18時の合計6時間で、うち1時間程度をミニセミナーとして、店舗設置のモニターを利用し、スライド形式による発表を行った（7月については、沼津夏まつりと同日だったため、店舗側の事情によりミニセミナーは未開催）。</p> <p>当日の人員体制はうみねこスタッフ2名（ミニセミナーの進行・来場者対応・記録）、NewStand+店員1～2名（飲食提供）で構成し、スタッフが積極的に来場者同士をつなぐ役割を担った。各回の開催に先立ち、日程・セミナー内容のコミュニティ内周知およびSNS告知を実施した。</p> <p>開催日程およびミニセミナーのテーマは以下のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催日</th> <th>ミニセミナーテーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>令和7年6月14日</td> <td>アニソンDJ講座</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和7年7月26日</td> <td>—（なし）</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和7年8月23日</td> <td>筋トレ&amp;ダイエット講座</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和7年9月15日</td> <td>静岡新聞で沼津ライフをより豊かに</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>令和7年10月18日</td> <td>沼津城の歴史セミナー ～What is Numazu Castle LIFE?～</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>令和7年11月15日</td> <td>麻雀を始めてみよう！講座（歴史編）</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>令和7年12月20日</td> <td>クラフトビールに沼ってみた！講座</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>令和8年1月24日</td> <td>駿河湾の『海賊』達</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>令和8年2月21日</td> <td>麻雀を始めてみよう！講座（基礎編）</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>令和8年3月28日</td> <td>「ライブレポ」ってどう書くの？</td> </tr> </tbody> </table> <p>全10回の開催を通じて、移住者・地域住民・移住希望者など述べ約200名が来場した。ミニセミナーでは移住者自身が講師を務めるケースが中心となり、DJ・健康・歴史・麻雀・クラフトビール・地域史・ライティングなど多彩なテーマを取り扱った。第4回では静岡新聞社からの提案により「新聞の読み方講座」を実施。移住者が地方紙に触れ地元記者と直接交流する機会もあり、地域理解を深めた。</p>		回	開催日	ミニセミナーテーマ	第1回	令和7年6月14日	アニソンDJ講座	第2回	令和7年7月26日	—（なし）	第3回	令和7年8月23日	筋トレ&ダイエット講座	第4回	令和7年9月15日	静岡新聞で沼津ライフをより豊かに	第5回	令和7年10月18日	沼津城の歴史セミナー ～What is Numazu Castle LIFE?～	第6回	令和7年11月15日	麻雀を始めてみよう！講座（歴史編）	第7回	令和7年12月20日	クラフトビールに沼ってみた！講座	第8回	令和8年1月24日	駿河湾の『海賊』達	第9回	令和8年2月21日	麻雀を始めてみよう！講座（基礎編）	第10回	令和8年3月28日	「ライブレポ」ってどう書くの？
	回	開催日	ミニセミナーテーマ																																
第1回	令和7年6月14日	アニソンDJ講座																																	
第2回	令和7年7月26日	—（なし）																																	
第3回	令和7年8月23日	筋トレ&ダイエット講座																																	
第4回	令和7年9月15日	静岡新聞で沼津ライフをより豊かに																																	
第5回	令和7年10月18日	沼津城の歴史セミナー ～What is Numazu Castle LIFE?～																																	
第6回	令和7年11月15日	麻雀を始めてみよう！講座（歴史編）																																	
第7回	令和7年12月20日	クラフトビールに沼ってみた！講座																																	
第8回	令和8年1月24日	駿河湾の『海賊』達																																	
第9回	令和8年2月21日	麻雀を始めてみよう！講座（基礎編）																																	
第10回	令和8年3月28日	「ライブレポ」ってどう書くの？																																	

事業効果	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p><b>① 来場者数（目標：各回15名程度）</b>      令和7年6月から令和8年3月までの全10回にわたって、目標としていた各回15名程度の来場者を概ね達成することができている。来場者の属性は毎回おおむね移住者が8割、地元住民・近隣在住者などが2割程度の構成となり、多様な属性の来場者を継続的に迎え入れることができた。最終回のミニセミナーには、SNSでの告知をきっかけに東京から足を運んだ来場者も確認されており、地域外への情報発信という点でも一定の成果が見られた。</p> <p><b>② ミニセミナーの参加者数（目標：各回5名程度）</b>      ミニセミナーについても、ほぼ毎回8名以上の参加者を記録し、目標の5名を一貫して上回ることができた。ミニセミナーを目的に来場した参加者がそのままカフェに滞留し、終了後の交流へと自然につながるという流れが各回を通じて定着し、セミナーがオープンカフェ全体の賑わいを生み出す呼び水としても機能した。最終回のアンケートでも、参加者全員がセミナー満足度を5点満点と回答しており、回を重ねるごとに内容・運営ともに定着してきたといえる。</p> <p><b>③ 来場者アンケートの5段階評価（目標：4点以上）</b>      最終回のアンケート結果は、成果指標として設定した「居心地の良さ」では4.5点、「来てよかったと思うか」では4.7点と、目標の4点以上を達成した。      本支援事業終了後における、次回開催への参加意向についても、「ぜひ参加したい」・「機会があれば参加したい」が9割以上となり、参加者の多くが継続的な参加意向を示した。</p> <p>10回の開催を通じて述べ約200名が来場し、移住者・地域住民・近隣在住者・移住希望者など多様な属性の人々が交流する場として機能した。ミニセミナーを目的に来場した参加者がそのまま滞留し終了後も交流が続くという流れが定着したことで、来場者同士の自然なつながりが各回を通じて積み重なっていった。またオープンカフェをきっかけにコミュニティに参加するようになり、その後の各種行事にも継続的に関わってくれる人が増加するなど、カフェという間口の広い場がコミュニティへの自然な入口として機能した。</p> <p>また、開催に関するレポートをコミュニティのウェブサイトで継続的に発信したことで、静岡新聞・日本経済新聞・テレビ東京などのメディアでの紹介や、静岡市・大学の研究者からも注目を集め、コミュニティの活動が地域内外で広く認知される機会となった。</p>
自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>本事業を通じて、うみねこコミュニティが抱えていた「固定的なオフラインの場がない」という弱点を大きく改善することができた。令和7年6月から令和8年3月までの全10回にわたって各回15名程度という来場者目標を概ね達成し、移住者にとどまらず地域住民・近隣在住者・さらには遠方からの来場者も含む多様な交流の場として継続的に機能させることができた。</p> <p>ミニセミナーについては、ほぼ毎回8名以上の参加を記録し、目標の5名を一貫して上回った。セミナーを目的に来場した参加者がそのままカフェに滞留し、終了後の交流へと自然につながるという流れが各回を通じて定着し、セミナーがオープンカフェ全体の賑わいを生み出す呼び水としても機能した。また地域住民にも積極的に参加いただけただことで、移住者と地元の人々が対等に学び合う場として成立させることができた。さらに、これまで人前で話す機会が少なかった人々を登壇者として迎えたことで、参加者個人の地域内での認知度向上にもつながった。</p> <p>来場者アンケートにおいては、「居心地の良さ」の平均が4.5点、「来てよかったと思うか」の平均が4.7点と、いずれも目標の4点以上を達成。ミニセミナー満足度は参加者全員が5点満点をつけており、次回参加意向についても回答者全員が継続的な参加意向を示した。</p> <p>加えて、会場であるNewStand+の事業者との連携が深まり、地域イベントへの共同出店という形に発展したほか、静岡新聞社とのつながりも生まれ、当初の計画を超えた地域に根ざしたネットワークの構築という成果も得ることができた。</p>

今後の活動予定	<p>※ 補助金を利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>本事業を通じて、固定的な場を持つことの重要性を改めて実感した。今後は補助金に依存しない形で、開催頻度を調整しながらも自己資金による活動を継続していく予定である。</p> <p>ミニセミナーについては、弊団体が主催する「沼津スライドトークイベント」との連携を図るか、またはその小規模版をミニセミナーとして開催することなどを検討しており、移住者が自身の経験や知識を発信できる場として発展させていきたい。</p> <p>また、本事業を通じて深まったNewStand+との関係を活かし、移住を検討している人々が気軽に相談できる窓口としての機能を持たせるべく、共同での事業スキームを検討している。移住後の孤立解消という本事業の目的をより実質的な形で継続するものとして位置づけている。</p> <p>引き続き地域に根ざした活動を積み重ねながら、自律的に継続できるコミュニティ運営モデルの確立を目指していく。</p>
---------	---